

vol.320

June 30th 2022

都市、その情景までも

Songs of the City

- Theme 01 "TOKYO"

- Theme 02 "RAINY DAY" p.4-5

p.6 Sounds of the City vol.320 Music of the City TEXT_WATANABE/M2 **URBAN DESIGN LAB. MAGAZINE**

Songs of the City "TOKYO" and "RAINY DAY"

都市は見る人によって、その姿を変えます。誰かが描いた「音楽」は、そ の差異を覗き込み、心情を共有する「媒体」となるのではないでしょうか。 本号は<都市 - 音楽 - 記憶>の関係を、個人の体験を通して描き出した 4 月号の続編です。都市と音楽を愛してやまない都市デザイン研究室メンバー が、都市を唄った歌を持ち寄って、その空間と時代背景を歌詞から分析しま す。今回のテーマは「東京」と「雨」。中島直人准教授、4月号主担当・若松、 6月号主担当・渡邉、副担当・森屋が、それぞれのテーマについて1曲ずつ セレクトし、歌の背景について熱く語り合いました。

>>> Selected Songs



中島直人 准教授 **О** ТОКУО 一本道/友部正人

RAINY DAY 「序曲」夢のちまた /エレファントカシマシ



M2 若松凪人 **О** ТОКУО 東京ゾンビ/ THE BLUE HEARTS

RAINY DAY Grapevine Fires / Death Cab for Cutie



M2 渡邉大祐 **О** ТОКУО STAY TUNE / Suchmos

RAINY DAY スプリンクラー/山下達郎



M1 森屋友佑 TOKYO 国道スロープ/きのこ帝国

RAINY DAY 雨男/amazarashi



▶ 東京。描かれているのは過去の「夢」か、それとも誰かの「日常」か



1つめのテーマ「東京」です。 リリースされた年代順にいきま しょう。まずは、各々の選定曲に ついて自由に時代背景や個人の想 いを語ってください。

#01 一本道(1972)



東京をテーマにした音楽はたく さんあります。上京してきて、東 京を「冷たい」なのか「華やか」 なのか、感情を唄った歌は多いで すが、東京の都市構造を歌に唄っ た歌はかなり少ない。

東京の都市構造というものはか なり複雑ですが、「一本道」とい うタイトルが表しているように、 中央線という直線の東西に走る線 路が西側の構造を決めていて、そ のことを唄っている曲。

あい 中央線よ空を飛んで あの娘の胸に突き刺され

このフレーズなんて、自分のそ の子への一直線の気持ちを中央線 に例えています。

「行けども行けども見知らぬ街で これが東京というものかしら

行った先にどんどん自分の知ら ない町が連なっているという、大 都市ならではの構造を唄っている ように読めます。



渡邉と若松の選定曲は東京に関 する感情を唄った歌。確かに都市 構造を唄ったような歌はあまり見 ないように感じます。

「行けども行けども見知らぬ街 で」というフレーズも東京の特徴 を表していますよね。



必ずしも東京固有ではないけれ ども、やはり中央線の路線図を想 起させますね。立川・八王子辺り まで様々な駅が連なっています。

#02 東京ゾンビ(1991)



甲本ヒロトの曲で、言ってしま えば上京ソング。一攫千金を狙っ て東京に来た人を「東京ゾンビ」 に例えた曲です。

果たして黄金はこの街に 死にたかねぇけど死ぬかもよ

特に注目しているのは、この曲 が 1991 年にリリースされたとい う点。1991年はバブルが弾け始 めた時期で、それまでは東京で一 攫千金を狙うみたいな東京観が 強かったと思いますが、それが弱

まっていった時代ではないかと 思っています。日本における東京 の優位性が下がっていったと言い



1991年はバブル崩壊もありま したが、東京に行かないとできな いことがたくさんあり、東京を経 由しないと次にいけないという時

しかし90年代半ば以降、インター ネットの普及などにより、東京と地 方、地方と東京の関係も変わって いった。良くも悪くも東京は身近に なりました。

くるりの「東京」(1998) や GOING UNDERGROUND の「東京」 (2005) といった曲もきらきらした 東京や憧れの感情ではなく、その日 常を唄っています。

ロシアンルーレット ロシアンルーレット

一攫千金の街・東京とロシアンルー レットをかけているのがうまいね。

#03 国道スロープ(2013)



自分の一番親しみのある場所を 唄っている曲にしました。

246 号線を跨ぐ歩道橋 東京は地上に星がある

国道246号線があって、その上 に首都高があり、更に歩道橋がたく さんあって、という東京の景色に親 しみがあるのでこの曲にしました。

きのこ帝国は別で「東京」(2014) という曲もあります。ボーカルは地 方出身ですが、曲の中ではその感情 を語らず、「あなたとの出会い」に ついてしか触れていません。東京 じゃなくても成立するような東京ソ ングです。

ような曲か、東京の「寂しさ」を唄っ ている曲に二分できると言い、その どちらでもない曲をつくりたかった とインタビューで語っていました。 国道スロープもどこか東京を俯瞰 してみている感じがしっくり来てい ます。

東京ソングは「夢」を抱いている



さっき話した東京ソングの「日常 化」という部分にも、2000年代と いうことで流れがありますね。この 曲は具体的にどこかは描かれてない けど、246 号線だと渋谷のあたりの イメージでしょうか。

「地上に星がある」というのも東 京らしい表現ですね。要するに東京 では「空の星」はまちが明るすぎて 見えないんだろうね。

当に共感できているかは、自身が

#04 STAY TUNE (2017)



この曲は、先程の分類に添わせる なら、「東京の寂しさ」みたいなも のを唄った曲です。Suchmos は神 奈川県の湘南出身のバンド。夜の東 京都心を酔っ払いがうろついている 様子や、考えもなく東京に集まって くる人たちのことを歌詞の中で唄っ ています。

Oh Good time 癒えない like the "Dead rising" Soon

「Dead rising」はゾンビという意 味。「東京ゾンビ」との対比が面白 いなと思いますが、ここでは「街を フラつく酔っ払い | のような人たち を揶揄しています。



東京と湘南に住む人は 距離は近 いんだけどライフスタイルが違いま すよね。

確かに「絶望」しているような歌 詞だけど、Suchmos はそれでも東 京に行っているんだろうね。



個人的にずっと疑問なのが、歌詞 では憂いているんだけどタイトルは 「STAY TUNE(チャンネルはそのま まで)」という部分。単に「夢」・「絶望」 の二分ではなく、その中間のイメー ジ。東京に対する彼らの期待の裏返 しみたいなものを感じますね。■

東京ソング:「東京と故郷」または「東京の中の東京」について



他の曲だと、先程例に出しまし たが、20代の時に聴いていたく るりや GOING UNDERGROUND の「東京」は、今でも好きですね。 特に後者の「東京」は、「終電が 行くと割と静かな街」としての東 京を唄っていて、あの頃の深夜の 帰り道がシンクロします。自分が 東京出身であることもあり、関西 出身のくるりが唄った東京観を本

ないですね。地方出身の憧れを 唄った歌だと、チャットモンチー の「東京ハチミツオーケストラ」 (2006) なども名曲ですね。



自分は逆で、地方出身というこ ともあり具体的な体験ではなく、 東京への「憧れ」や「寂しさ」な どを唄った歌に共感します。



今ふと思ったのですが、「一本道」 のような山手線より西側を唄った曲 や、「STAY TUNE」のような山手線 付近を唄った曲はありますが、山手 線より東側の曲はあまりないなと感

東京ソングは「希望」と「日常」

と「絶望」みたいに分けられるのか

もね。今日の中ではあまり具体的な

地名や空間が出てきませんでした

が、そうしたものも今後は拾ってい

きたい。

じました。



歌い手の人達がどこに住んでいた かに関係していると思うよ。東京上 京ソングの特徴としては、夢はある けれどお金がない若者が安いところ に住むとなると、環七の木賃ベルト みたいな場所が多く、そういう人た ちは渋谷や新宿に出てきますよね。 阿佐ヶ谷や下北、三軒茶屋が日常生 活の舞台なんです。

つまり圧倒的に歌い手の人達が東 京の西側のエリアに集まっているん だと思います。その裏返しで東側が 少ないのではないでしょうか?



vol.320 Music of the City TEXT_WATANABE/M2 URBAN DESIGN LAB. MAGAZINE



ライブハウスもその辺りにおおいです。みんなそのエリアに拠点を持っているということが続いているんだと思います。



ところで、早稲田・高田馬場あたりを唄った「神田川」(1973)という有名な曲があります。ああいう曲が名曲として残り続けるのは、聞いてる人たちはもう東京から故郷に帰っており、学生時代を過ごした東京が過去のものになっているからではないかと思います。

距離としても時間としてもある種の距離を持った事象として、20代前半の濃密な暮らしを思い起こさせ

るものが、一番感情に訴えかけるんでしょうね。それが東京ソングの1つの典型としてあると思います。



そういう曲は最近無いように感じますね。東京一極集中みたいなものがトレンドとして加速し、東京から 故郷に帰る人が少なくなったからでしょうか。



少し話が変わりますが、東京 ソングには andymoriの「CITY LIGHTS」(2010)とスピッツの「Nade・Na・de ボーイ」(2007)という曲があります。その中で「待ち合 わせは高円寺」、「明大前で乗り換え て」というフレーズがあります。両曲ともその後「まちに出る」と続くのですが。そこから東京に住みながらの東京ソングというものもあるのではないかと感じました。



なるほどね。

スピッツのボーカル(草野マサムネ)は、武蔵野美術大学出身で、武蔵美の近くにある「ロイヤルホスト」を曲に登場させたこともあります(「ナナへの気持ち」(1996))。今は彼がどこに住んでいるか分かりませんが、歌い手にとっても若い時の感性豊かな頃の経験というものは歌になりやすいんだと思うよ。■



□「悲しみ」「憂い」「虚無感」、人々の万感の想いを受け止める「雨」



次に2つめのテーマ「雨」です。 先程同様に、リリースされた年代 順にいきましょう。

#01 スプリンクラー (1983)

この曲の舞台は、雨の地下鉄駅の入口。彼女に振られて、その女性が雨の中で地下鉄駅の中へ遠ざかっていく際の心情を唄っています。

-地下鉄の階段を 泣きながら駆け下りてく君の後姿 |

雨の日のホームや地下鉄駅の出 入り口には、晴れの日にはない舞 台性があるとこの曲を聞いていて 感じ、選定しました。

薄暗い地下道へと流れ落ちる雨 それはまるで壊れたスプリンクラー



流れ落ちてくる雨をスプリンクラーに例えているのが面白いですね。きっとものすごい土砂降りで、歌い手もそういう感情だったんで



この後の曲もそうですが、雨を 唄った曲は悲しい感情を表現して いるものが多いと感じますね。

#02「序曲」夢のちまた(1989)



自分の部屋に閉じこもっているある若者が、外に出てもいいかなと思い立つ歌。その外に出ようと思う日が晴れではなく、雨の日というのが特徴。

「いい季節だ どこへ行こう 不忍池など楽しかろう 雨になれば水が増して さぞ 水鳥も驚くだろう

雨の歌というのは「スプリンクラー」の土砂降りという表現や、路面が濡れていたりということがありますが、この曲ではある種、趣の変化を日本的に表現しているのが面白い。



俳句で読まれる情景みたいなもの を、うまく歌の中で表現しています ね。



池が歌詞の中で読まれることも含 めて、日本的な雨観であると感じ選 定しました。

宮本浩次は文学好きで、この曲も 森鴎外の「雁」などを下敷きに置き ながら書かれています。だから、「日 本文学的な雨」の情景を写し取った ということではないかと思います。

#03 Grapevine Fires (2013)



「夢のちまた」が日本的なら、この曲はアメリカ西海岸的な雨の歌。 山火事が多い地域で、地中海性気候 ということもあり、ブドウ畑が多く、 その畑が火事になってしまう歌。

The firemen worked in double shifts
With prayers for rain on their lips

雨の意味としても、全てが焼き 去られた後に終止符を打つ、新しい ことの始まりということもありま す。雨が滅多に降らないという地域 性も表現されていると感じます。



曲の中の雨や山火事の意味として は、ストレートではなく何かに例え ているのかな。



「何かの終わりが来ると分かっていて、それを待っている」といったところだと思っています。ある種の「虚無感」を受け入れる姿勢のようなものを感じます。



曲中で、"we","us","they"等の人称 表現が多用されており、自分だけの 話では無くしている点も西海岸の風 土を表しているかもしれませんね。



感情を「Grapevine(ブドウ畑)」で例えているのも日本では見ない表現だね。燃え上がるブドウ畑のような気持ちって何だろうね。



この曲がリリースされる1年前 くらいに、甚大な被害をもたらし た山火事が起こっていたそうで す。そこから着想を得ているんだ ろうなと思っています。



何かを雨に例えている曲だと Creedence Clearwater Revival の 「Have You Ever Seen The Rain」 (1970) がよく知られていますね。ベトナム戦争時の曲なので、空爆を雨 に例えているという解釈があります。

#04 雨男(2014)



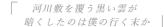
この曲はかなり鬱々とした曲です。

「 酷く疲れた幾つもの顔が 車窓に並ぶ東横線の高架

疲れた顔が並ぶ東横線の高架の下、多摩川の河川敷を歌い手は歩いています。東横線に乗っている人達は雨に辟易していますが、歌い手は雨に慣れていて、受け入れているのではと思います。



なぜ舞台として高架下の河川敷 が選ばれているのでしょう。



ここも、黒い雲がかかっている のを河川敷と自分の未来だけに限 定していますね。



雨が降っていて、そこにあまり人がいないからなのでは?孤独な空間がより強調されているみたいな。



晴れの日の河川敷は、空が広くて 心地の良い空間になっていますが、 その分雨の日は暗さが際立ち、より 鬱蒼としているように感じます。

「 だからあえて言わせてくれよ 未来は僕らの手の中



このフレーズは THE BLUE HEARTSの「未来は僕らの手の中」 (1987) から引用していますね。基 本的には沈みつつも、何かにすがっ てもがいてる感じがするね。■

▶ 雨ソング:水飛沫によって掻き消されるまちの「音」・突如現れる都市の舞台



「都市と音楽と雨」というテーマでは、「『序曲』夢のちまた」と「Grapevine Fires」で風土の違いが出ていたことが、今回面白いなと感じました。



私は河川敷に雨が降ると、一気 に高架下の河川敷という空間がア ジールのような場所になるという ことが面白いと感じました。 1人 になれる空間といいますか。

雨の日には、そういう場所が都 市の中に突如現れるということで すよね。東横線に揺れている多く の人のすぐ下にそのような場所が あるというのは、とても都市的で すよね。



アジールを求めつつも、そこで 孤独やその空間の寂しさを唄うの はなぜでしょう。自分で孤独を求 めているのに孤独を唄うみたいな。



孤独を増幅させるような場所なんでしょうね。なおかつ、自分の感情は研ぎ澄まされるといいますか。それが歌になるんだろうね。

雨の不忍池も、人がいないという 点が重要なのではないかな。



雨というものは都市の中の人を一 旦無くすという効果もありそうです。外の音も気にならなくなります よね。空間が持つ意味みたいなもの を掻き消すといいますか。



雨の日にはみんな引きこもります よね。しかし、「『序曲』夢のちまた」 のように、逆に引きこもっている人 は出てくる、その逆接が都市なんで しょう。



人は確実に少なくなりますね。と 言いますか、人の集中する雨宿りで きるような場所とそうでない場所 で、人流の濃淡に差が表れるように 思います。そこでアジール性のよう なものが強化されるんでしょうね。



子どもが歌う童謡で「雨の遊園地」 という曲があります。雨の日の遊園 地の寂しい様子を唄った曲です。雨 の日の非日常的な情景って結構惹か れる部分がありますよね。



雪が降ることによっても情景は大きく変わります。雨や雪は都市に非日常性みたいなものを呼んでくる装置みたいなものかもしれません。



「スプリンクラー」も地下鉄の周囲 に人が少ないから、ある種の舞台性 を発揮していたのかもしれませんね。

| 街に雨が雨が降って降って 赤い傘をさす少女が歩く

東京ソングの、「国道スロープ」 でも雨が降っていますね。歩道橋か ら赤い傘を眺めているんだろうね。



「赤」という部分が重要だと思いました。雨の日は、あるものが急に際立って見えることがあるよね。



雨が降ると、逆に周囲のまちや建 物の持つ色や、派手さみたいなもの が抑えられるんだと思います。



傘やみずたまりをモチーフにした 曲も結構ありますよね。傘は「何か を防ぐもの」、みずたまりは「自分 が映るもの」として出てくることが 多いと思います。

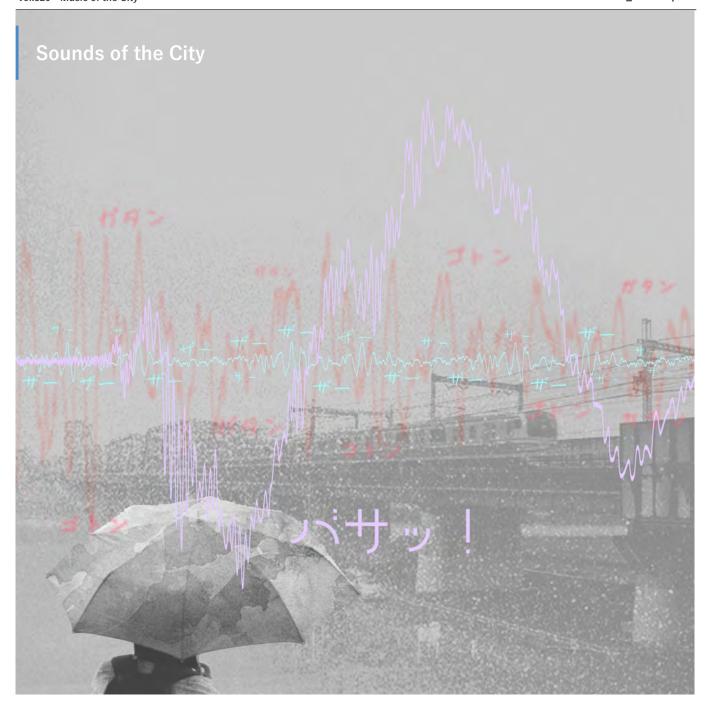


雨によって、大きく都市空間が変 化することを再認識させられまし た。雨の日を少し楽しむことができ るようになりそうです。

本日は有難うございました!■

4

vol.320 Music of the City TEXT_MORIYA/M1



COLUMN

POSTSCRIPT

WEB MAGAZINE

続きは都市デザイン研究室 HP で! https://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ja/blog/



まちにわ WS#4 開催

宇治 PJ では去年に引き続きまち にわ WS を莵道ふれあいセンター で実施しました。メダカすくいやカ レー販売は子ども達に大人気でし た。同時に他大学の WS も実施され、 終始大盛況でした。(M1 佐橋)



生きもの観察会に参加

手賀沼プロジェクトでお手伝いをしている生きもの観察会、今月は池の周りの水路を調査しました。子どもたちは池にいない生き物を見つけては教えてくれて、その知識量に驚かされました。(M1 菊池)

BOOK OF THE MONTH



東京裏返し 社会学的街歩きガイド

> 吉見俊哉 集英社 2020

推薦者 M2 神谷

筆者が実際の街歩きを通して社会学的視点から描いた東京北部。街歩きの本質とは、「日常とは異なる物語的時間を日常的な都市風景の中で生きること」とあるように、当書を手に持って歩くと、よく知る地域に積層する歴史物語がどんどんと紐解かれていく。

発行:東京大学都市デザイン研究室マガジン編集部

神谷南帆・合田智揮・杉本莉菜・若松凪人・渡邉大祐

伊藤純也・佐橋慶祐・高野楓己・橘俊輔・永井鷹一郎・長谷川帆奈・平野真帆・森屋友佑